

2025年11月9日

訪問栄養食事指導育成研修会

栄養ケアユニットにおける 訪問栄養食事指導について



社会福祉法人 埼玉医療福祉会
丸木記念福祉メディカルセンター
栄養課 福田 瞳

病院グループ の紹介

所在地：入間郡毛呂山町
理 念：「限りなき愛」
ミッション：↓



病院の紹介



本部ビル

病棟名	区分
本部8階	精神一般(女性)
本部7階	精神合併症
本部6階	精神一般(男性)
本部5階	緩和ケア 20床
本部4階	地域包括ケア 50床
本部3階	内科 48床
本部2階	
本部1階	精神科外来 認知症疾患医療 センター

薫 風 園

病棟名	区分
薫風園8階	ケアハウス
薫風園7階	ケアハウス
薫風園6階	回復期リハ 60床
薫風園5階	回復期リハ 50床
薫風園4階	老健
薫風園3階	老健
薫風園2階	デイケア
薫風園1階	外来・相談室 栄養課(管理室)

第一病棟

病棟名	区分
第1病棟3階	精神療養
第1病棟2階	精神療養
第1病棟1階	精神療養

第二病棟

第2病棟3階	精神療養
第2病棟2階	精神療養

くらしワンストップ MORO HAPPINESS館



4階 学びのフロア

3階 相談支援のフロア

- 地域包括支援センター支所
- 訪問看護ステーション
- 指定居宅介護支援センター
- 毛呂山越生在宅医療相談室
など

2階:在宅療養支援診療所 HAPPINESS館クリニック

1階 健康ふれあいフロア

- コミュニティーカフェ
- フィットネス
- ボルダリングボード

栄養課の組織

- 栄養管理部門

栄養管理（栄養ケア・マネジメント）、栄養指導等

食事サービスの提案・確認・管理監督、機器類・食器の管理、
危機管理、食品衛生管理

委託業者への教育・指導など

○法人栄養課（管理栄養士）の配置（令和7年10月現在）

栄養部長（埼玉医大と兼務）	1名	} 13名
丸木記念福祉メディカルセンター	5名	
老健 薫風園（うち兼務1名）	2名	
光の家療育センター	3名	
特養 ナーシングヴィラ本郷（うち兼務1名）	2名	

訪問栄養食事指導について

埼玉県栄養士会栄養ケアユニット（以下：栄養CU）

◇原則として栄養CUは医療機関に設置し、ここに所属する管理栄養士が訪問栄養食事指導等を行う。

◇この管理栄養士が窓口となり県栄養CS人材バンクに登録された地域のフリーランスの管理栄養士（構成員）と当該医療機関が必要に応じて就業契約をすることで事業の拡大を図る。

◇訪問栄養食事指導（医療・介護）、外来栄養食事指導、介護保険による栄養改善加算（通所施設等）は常勤である必要が無く、栄養CS、栄養CUから管理栄養士がそれぞれの医療機関や介護保険施設に出向いて効率的に栄養ケアを実施することができる。

認定から地域支援活動への流れ

2017年12月 栄養ケアユニット認定

毛呂山町、越生町の地域包括支援センターへ訪問

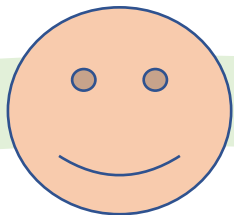
地域の居宅介護支援センターへ訪問



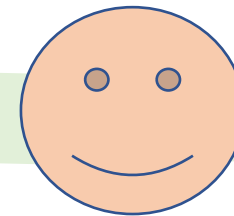
2018年 訪問栄養食事指導 モデル事業の実施

→訪問栄養食指導開始

地域ケア会議への出席依頼



顔の見える関係性づくり



訪問栄養食事指導の流れ

1 訪問依頼を受ける

ケアマネ・主治医・ご家族他から連絡を受ける。

2 主治医に指示書をもらう

ケアマネやご家族を経由して主治医に指示書の書式をお渡しする。

3 訪問の日程調整をする

他のサービスの利用状況等確認し、日程を決定する。
対象者の情報収集と、契約書等書類の準備を進める。

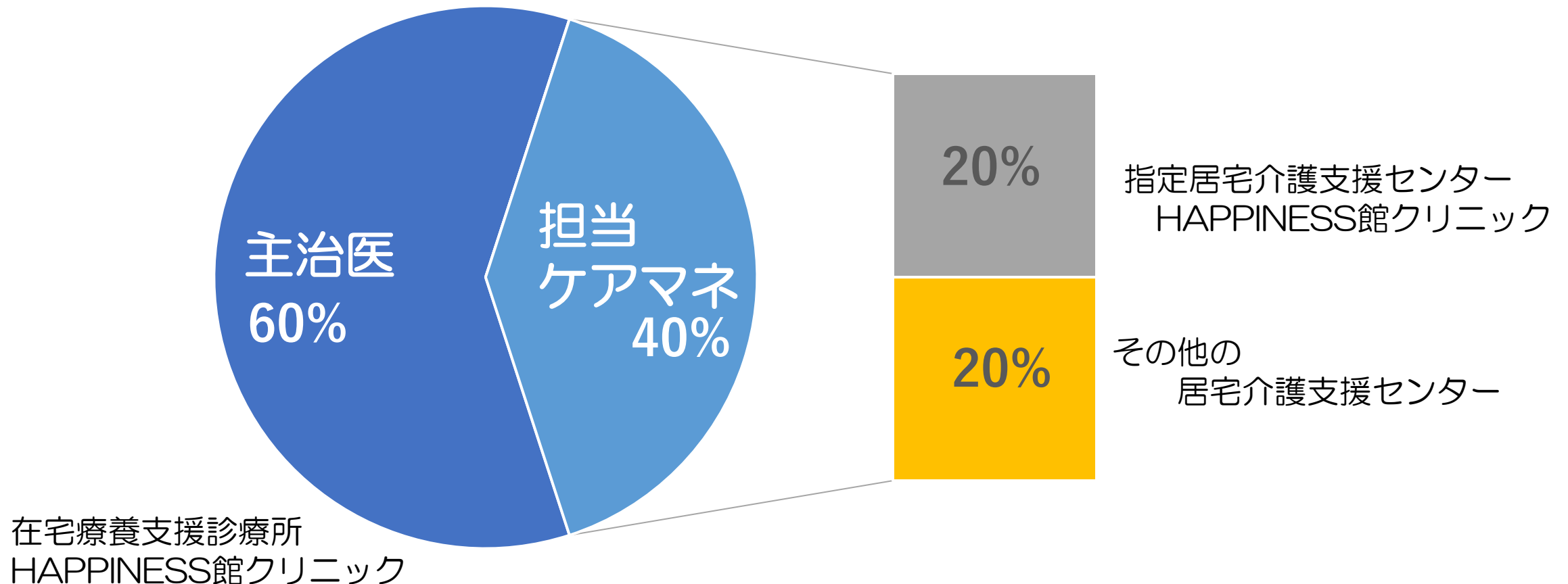
4 訪問

食事状況、生活状況のアセスメント、課題抽出
契約を取り交わす。次回日程の調整をする。

5 報告書作成／情報共有

作成した報告書は主治医とケアマネに送付する。
3か月～6か月で評価する。

1 訪問依頼を受ける 紹介元（2024年度新規介入者）



訪問栄養食事指導の条件

- 主治医の指示があること
- 当該医療機関に勤務する管理栄養士または、**他の医療機関**、介護保険施設及び都道府県栄養士会が運営する栄養ケア・ステーション**に所属する管理栄養士**
- 厚労省の定める特別治療食に該当すること
- 在宅で療養していて、外来に通院できない方

2 主治医に指示書をもらう

様式①

在宅訪問栄養ケア情報提供書 兼 栄養食事指導指示書 (FAX 可)

依頼先: 丸木記念福祉メディカルセンター 連絡先: 栄養ケアユニット(栄養係) Tel: 049-276-1458 Fax: 049-295-5997 Mail: eiyouka@saitama-mwa.or.jp		紹介元医療機関: 指示日 年 月 日 医療機関名: 主診医名: 所在地: Tel./Fax:	
フリガナ 患者氏名	様 (男・女)	生年月日: Y / M / D	年齢: 歳
住所	〒	TEL ()	※不在時連絡先:
担当 介護支援 専門員 (必須)	氏名: 所属:	連絡先: TEL: FAX: Mail:	
実施予定日時	年 月 日・未定	(午前・午後)	時間から・未定

1. 適応保険	☐ 医療保険 ☐ 介護保険 (介護申請されている方は、介護保険優先です)
2. 訪問栄養食事指導の目的	☐ 疾病の理解 ☐ 食生活の改善 ☐ 疾病の重症化予防 ☐ 食事の選択方法 ☐ 調理・加工方法 ☐ 食事全般への支援 ☐ その他 ()

<治療状況と、栄養食事指導指示内容>

3. 栄養食事指導対象の疾患名	☐ 糖尿病 (インスリン・経口薬・投薬なし) ☐ 脂質異常症 ☐ 高血圧症 ☐ 高尿酸血症 ☐ 慢性腎臓病 ☐ がん () ☐ 低栄養 ☐ 摂食・嚥下障害 ☐ その他 ()
4. 栄養量の指示	☐ 病態に対し適正な栄養量を管理栄養士が算出すること。 ☐ エネルギー Kcal ☐ たんぱく質 g ☐ 脂質 g ☐ 塩分 g ☐ 水分 ml
5. 依頼事項	☐ 食事アセスメント ☐ ヘルパーと協働で指導 ☐ 生活習慣の見直し ☐ 食事指導(治療食) ☐ 調理指導 ☐ その他 ()
6. 特記事項	☐ 検査データ ☐ 薬剤情報 ☐ () を、別紙に添付します。

様 (医療機関名) 年 月 日

お申込みいただき、有難うございました。上記の申込みを受理いたしました。
担当管理栄養士が下記のように決定いたしましたので、取り急ぎ報告いたします。

丸木記念福祉メディカルセンター 栄養部門
在宅訪問 管理栄養士 氏名

様式②

送信先 FAX 049-295-5997 または、
Mail eiyouka@saitama-mwa.or.jp

社会福祉法人埼玉医療福祉会
丸木記念福祉メディカルセンター
院長 齋藤 紀夫 様

訪問栄養食事指導依頼状

患者 () 様について、訪問栄養食事指導が必要ですので、
別紙 様式① 在宅訪問栄養ケア情報提供書兼栄養食事指導指示書を添付して
依頼いたします。

なお、貴センター所属の管理栄養士が対象者に対して十分な説明を行い、本
人・家族等の了解を得たうえで実行可能な指導を開始してください。
患者情報については、担当の介護支援専門員に依頼してください。

コメント:

年 月 日

主治医

医療機関

連絡先 TEL FAX

E-mail

当センターの流れ（現在）

介護保険の場合

（訪問：居宅療養管理指導）

①依頼（指示書）



埼玉県栄養士会認定
栄養ケアユニット
（医療機関）



+ ○○医院

在宅支援診療所
在宅療養支援病院

患者情報
指導報告書

継続的に診療
栄養指導の必要性



在宅等

訪問栄養指導

※ 介護認定あり

地域クリニックと契約（居宅療養管理指導Ⅱ）

介護保険の場合
（訪問：居宅療養管理指導）



契約（委託料）
依頼（指示書）

請求

患者情報
指導報告書

日程調整
業務報告

継続的に診療
栄養指導の必要性

埼玉県栄養士会認定
栄養ケアユニット
（医療機関）



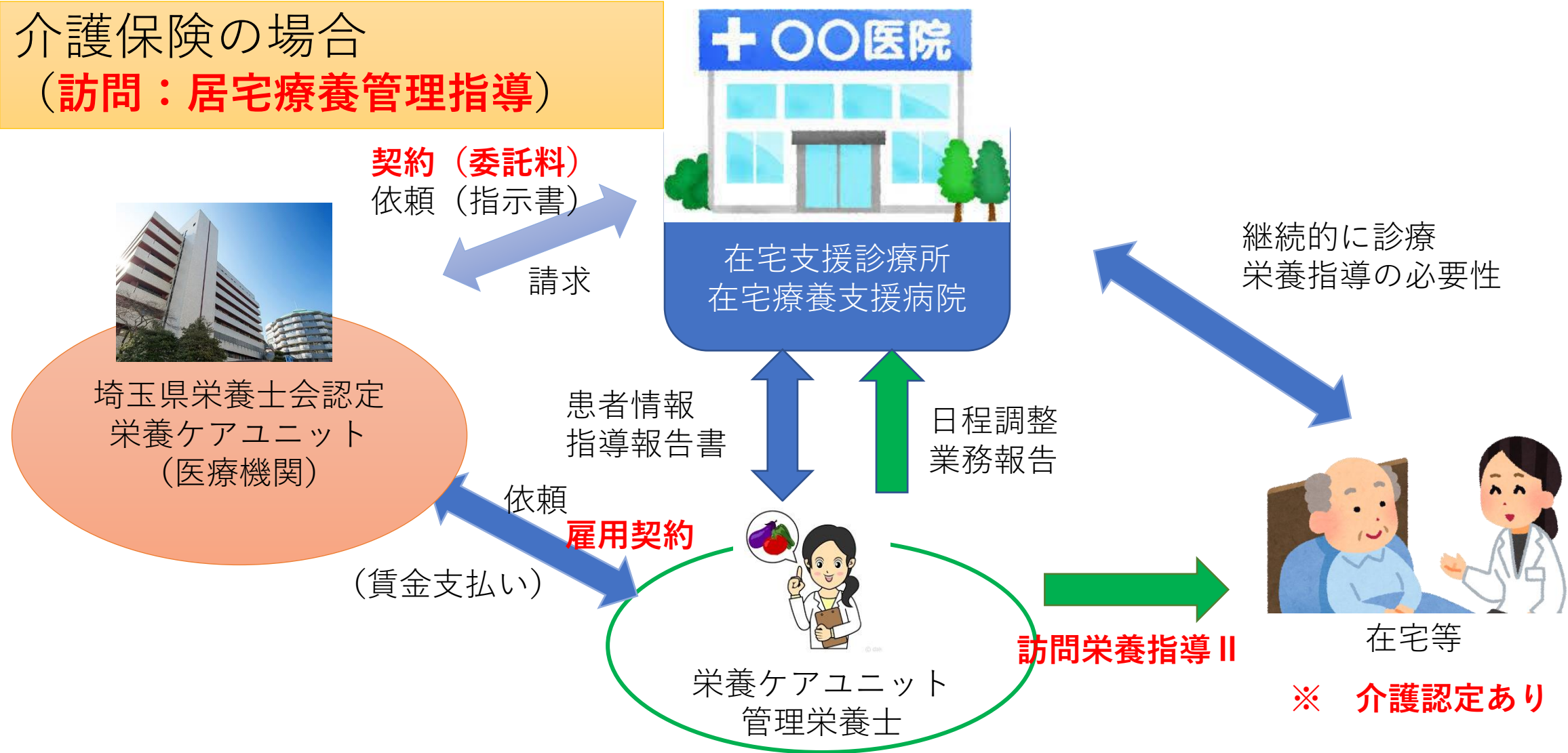
訪問栄養指導



在宅等

※ 介護認定あり

埼玉県栄養ケア・ユニットの役割

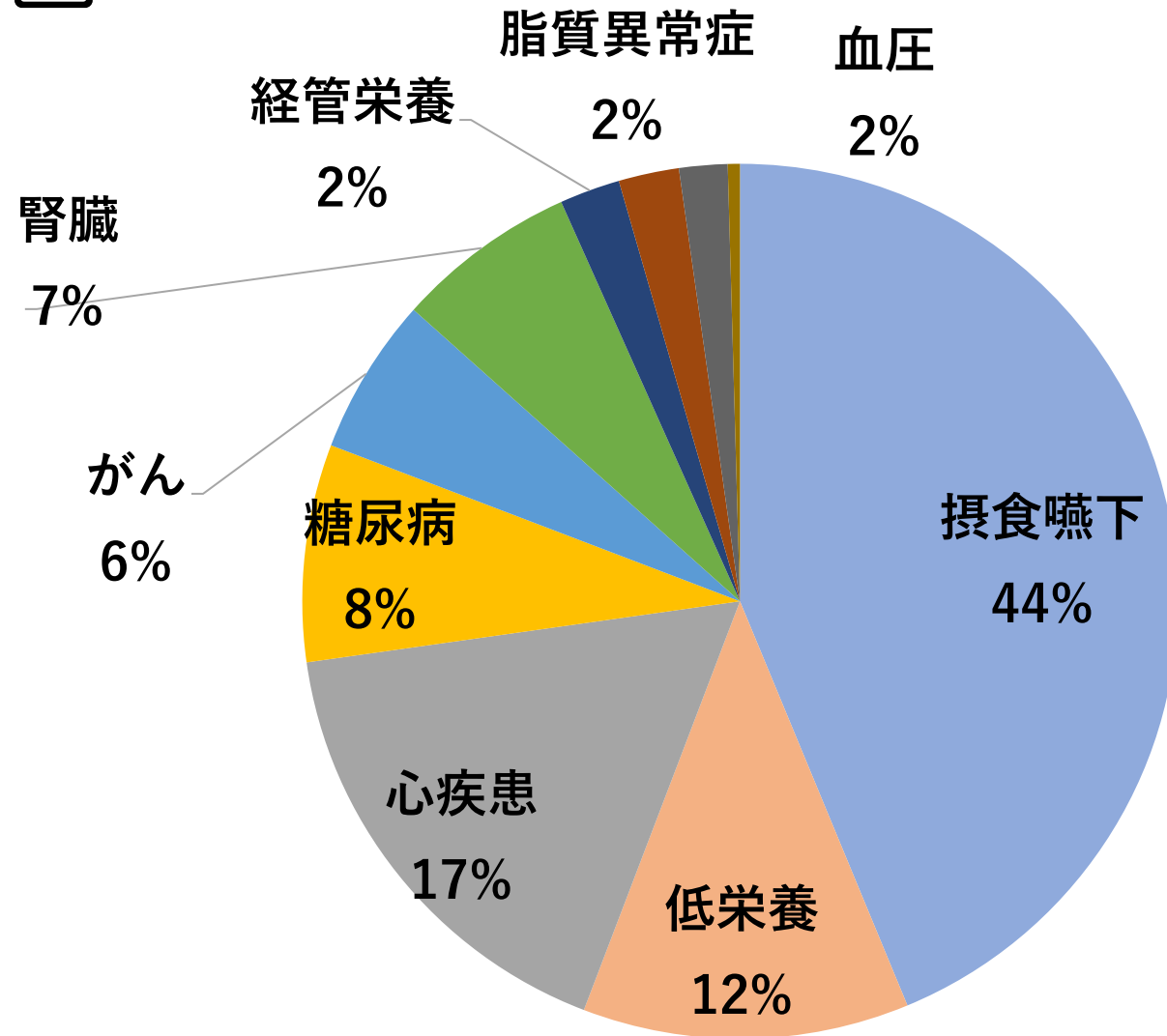


共通項目

- ① 算定は月2回まで
- ② 1回の指導に要する時間は30分以上
- ③ 訪問に要する交通費、調理指導に必要な食材費については、実費にて療養者から徴収することができる。
(事前に説明と同意が必要)



対象病名



訪問栄養食事指導の流れ

1 訪問依頼を受ける

ケアマネ・主治医・ご家族他から連絡を受ける。

2 主治医に指示書をもらう

ケアマネやご家族を経由して主治医に指示書の書式をお渡しする。

3 訪問の日程調整をする

他のサービスの利用状況等確認し、日程を決定する。
対象者の情報収集と、契約書等書類の準備を進める。

4 訪問

食事状況、生活状況のアセスメント、課題抽出
契約を取り交わす。次回日程の調整をする。

5 報告書作成／情報共有

作成した報告書は主治医とケアマネに送付する。
3か月～6か月で評価する。

3 訪問の調整

- ご本人、ご家族、担当ケアマネージャー等と連絡を取り、初回訪問日を設定する。
- 駐車場所の確認
- 情報収集、資料の準備

4 初回訪問（所要時間1時間程度+ α ）

- 自己紹介
- 食事のアセスメント（内容、回数、調理/買い物担当者 等）
- 訪問栄養食指導の説明→契約
- 次回の日程調整

症例紹介 多職種との連携

依頼者：主治医

「糖尿病があるが本人は甘いものが好きで、体重が増え続けている。このままでは増えすぎるので介入してほしい。今回の栄養指導は本人はしぶしぶ承諾してくださっている。」

対象者：70歳代女性

病 名：腰椎圧迫骨折保存加療後・右足関節骨折術後・2型糖尿病

身体状況：要介護4 移動は車いす使用 認知機能問題なし

BMI24.2 HbA1C7.0%

体重 1か月+1.1%、3か月+0.9%、6か月+2.3%

生活状況：夫と息子と3人家族、通所サービス3日/日利用中

経過（１）

ケアマネ 通所から帰った後、バームクーヘンとかロールパンを食べているらしい。訪問リハをドタキャンした経歴がある。

初回：夫）食事記録、体重記録の資料を用意してくれている。
「食べることが楽しみだからあまり制限してもねえ…」

本人）「デイサービスから帰って夕食までお腹がすくから、パンやお菓子を食べていた。そんなに悪いのかしら？糖尿病の友達がいるけど大変そうよね。」

 本人は病識なく、特に栄養指導の必要性も感じていない様子。
「医師の指示なので」とひとまず3か月介入することになった。

5 報告書作成／情報共有

- SOAP形式で記載
- 栄養ケア計画書作成
- 主治医とケアマネージャーに送付

本人・家族の意向

本人：リハビリを行いながら、自宅での生活を続けていきたい

家族：現状維持できれば、本人の思いを尊重したい。

長期目標

体調を維持して、在宅生活を継続することができる。

短期目標

食事療法をおこないながら、食事を楽しむ。

体重を維持する。

経過（2）

2回目：食事記録の栄養計算（概算）を持参
食事量の調整も説明

本人）夕食前に食べる回数は減った。

けど、お取り寄せしたお菓子がおいしくてまた頼みたい。

夫）糖尿病といってもそれほど悪いわけではないんですよ。
息子に合わせて、食事もやや多いかもしれない。

通所施設 体重測定 月1回→2回へ増加依頼。

主治医 栄養指導後の状況確認。間食の食べ方について再説明。
今後も継続を希望。

経過（3）

3回目：糖尿病とその合併症について詳しく説明。

体重に変化が見られていないことを理由に栄養指導継続を提案。

本人）甘いものは減らそうと思っている。食べすぎよね。

夫）間食は減っているから、食事よね。血圧も高めで心配がある。
継続については一旦了承。

ケアマネ 間食状況の情報共有。本人の意向確認。

経過（4～6）

- ・人工甘味料の使い方の紹介、季節に合わせた食品の食べ方の提案
外出の提案 等

本人）いただいたお菓子があるけど、どう食べたらいいの？

こんなにカロリーがあるのね。夫と分けて食べている。

夫）ココアはやめた方がいいんじゃない？

資料がわかりやすいです。

主治医 人工甘味料等の提案、過去の食事内容の情報共有
体重・採血データの共有

6か月で介入終了

- 体重経過 1 か月－1.2kg (－2.2%)
HbA1C 介入2か月前7.0%→ 介入して3か月後7.2%
→体重減少は食い止められたが、HbA1Cはまだ高値である経過を見る必要あり。(フレイル予防にも注意。)
- 本人、家族から間食や食事内容を気にする発言がきかれた。
→糖尿病や体重管理について意識付けができた。
- 楽しみを継続しながら、在宅生活が継続できている。

対象者の状況はさまざま

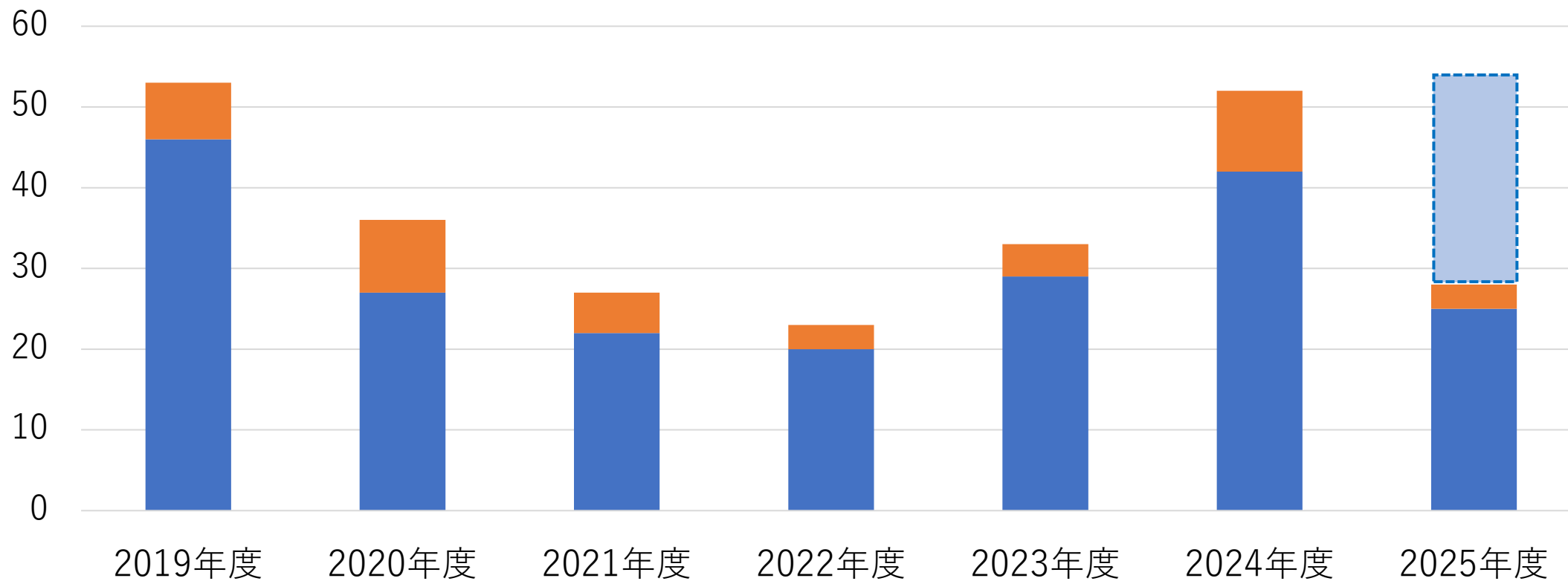
- 70歳代男性 独居 心疾患と腎疾患
- 50歳代男性 独居 脳梗塞後遺症と糖尿病
- 80歳代男性 高齢者夫婦 心疾患
- 80歳代女性 高齢者夫婦 低栄養・摂食嚥下障害
- 90歳代女性 娘家族同居 低栄養・摂食嚥下障害



対象者の年齢、生活状況によって課題はさまざまであり、対応も都度異なります。多職種との協力・情報共有は大切だと思います。その中で管理栄養士として出来ることを探ります。

訪問件数の推移

(件)



新規

継続

広報活動 ～依頼件数UPのために!!～

◆病棟／通所施設との連携



地域包括ケア/回復期リハ
デイケア、デイサービス

◆病院ホームページに情報掲載



◆系列クリニックへ営業活動



◆パンフレット配布



今後の課題

- 介入件数の増加に伴い、院内の栄養士だけでなく、地域の管理栄養士と就業契約を結び、栄養ケアユニットとして事業の拡大を進める。
- 訪問栄養指導について、埼玉県栄養士会によって地域の医師会に周知をするだけでなく、県からもこのような重症化予防のための仕組みづくりを進めていただきたい。

最後に

栄養ケアユニットとして活動する中で、他職種と出会ったときに訪問栄養指導などについて、以前より情報が広まっていると実感しています。今後も、地域での訪問栄養食事指導の需要は高まると考えます。

多職種が集まる連携会議等には積極的に参加し、多くのつながりを作ることで、活動の範囲が広がっていくと考えます。

ご清聴ありがとうございました。